

# 広報 しんち

## 新地町民憲章

1. ふるさとの海と山を愛し、美しい町をつくります。
1. 互いに助け合い、心の豊かな町をつくります。
1. 健康でしごとにはげみ、希望に満ちた町をつくります。
1. としよりを敬いこどもを愛し、明るい町をつくります。
1. 郷土の歴史を大事にし教養を高め、文化の町をつくります。

資源保護のため再生紙を使用しています。

第248号  
平成4年  
2月



きたえよう  
心とからだ



荒司正晃館空手道場新地支部長（写真上、中央）は、子供たちを自家用車で送迎しながら木・土曜日の週2回、自前の道場で空手の指導をしています。

子供たちは、厳しい寒さにも負けず元気にけいこに励んでいました。



▲ 神田信介さん宅の防火診断を行う消防署員

同新地分署では現在、五年計画で全家庭を対象に住宅診断を実施中です。住宅火災による死者の約半数が六十五歳以上の高齢者です。今後、高齢化社会がますます進行していくことが予想

### 全戸対象に 防火診断を実施中

する住民の意識の高さ、各地域の消防団員や婦人消防隊員の日頃の地道な活動の表れではないか。昨年の五月三十日

以来、二百四十日以上無火災を続けており、こちらの記録も伸ばしたい。」と話していま

るために、特に高齢者の防火対策を中心に住宅防火対策を総合的に推進しています。消防署員が、みなさんの家庭を訪問し、どのような火気使用器具や防火用品(消火器等)を使っているかなどを調査し

また、屯所のなかつた真戸、岡、菅谷の消防団には屯所、車庫の整備を行いました。現在可搬式ポンプを配備してい

る地区については、平成四年度より年次計画により積載車を配備する予定です。

### 無火災の誓い新たに 出初め式

され、火災による死者が急増していくことが懸念されます。住宅火災による死者を少なくす

この機会に家の防火について家族でどうしたらよいか話し合ってみてください。

えることができた。今年も団の近代化を進め、防火に努めていきたい。」とあいさつ。荒町長が団員たちの日ごろの努力に感謝をしました。

続いて通常点検、小隊訓練などを実施、団員たちはきびきびと行動し、防火の誓いを新たにしました。



▶ 菅谷地区に建てられた屯所・車庫

町では、昨年消防団に中型ポンプ自動車一台、小型全自動ポンプ付積載車六台を交付しました。これらは、電源立

地促進対策交付金事業の消防施設整備事業として購入したもので、これにより町の消防力が一段とアップしました。

町消防団の出初め式が一月十二日、公民館グラウンドで行われました。団員と婦人消防隊員、来賓合わせて約三百五十人が出席しました。

初めに中江章団長が「昨年は皆さんのお陰で火災件数四件、損害額わずか九千円に抑



▶ 出初め式で荒町長あいさつ

◆ 一般表彰  
▽火の見やぐら工事協力Ⅱ大森製作所、森電設

▽優良団員Ⅱ石田洋一、星義一、菅野一彦(第一分団)、加藤好裕、小野貞夫、阿部良一、荒木好美(第二分団)、鈴木栄、鈴木文雄、荒正治(第三分団)

### 相馬地方広域消防管内火災発生状況

発生件数	78件
損害数	153,460千円
建物焼失面積	2,912㎡
林野焼失面積	42a
焼死者	5名

## 火災のない町で 安全な暮らしを



相馬地方広域消防本部が昨年一年間の「火災と救急統計」をまとめました。新地町の火災損害額はわずか九千円と広域消防発足以来、最小限の被害額に止まりました。

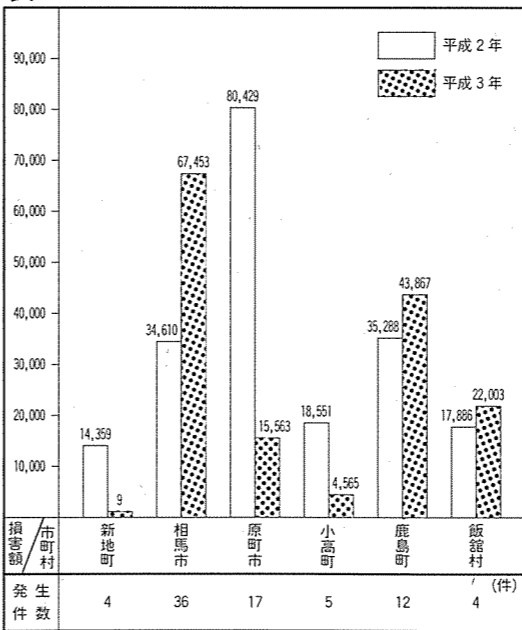
まず、今後高齢化社会を迎え、ますます救急活動の需要が増えてくることが予想されます。今回は、二十四時間体制で「町民の生命と財産を守る」ことを使命として日夜働く消防職員と火災や救急業務を追いかけました。

### 昨年の火災損害額 わずか九千円

新地町の昨年の火災発生件数は四件、損害額九千円で町

相馬広域消防管内の昨年一年間の火災発生状況は、七八八件、一億五千三百四十六万円の被害額、市町村民(約十三万四千人)一人当たり千四百四十五円。これと比較しても新地町の被害額がいくかに少なかったかがわかるかと思えます。(各市町村ごとの状況は表一参照)

表一 市町村別火災損害額 (単位:千円)



消防新地分署では、これまでも明地や各保育所で防火訓練、また、各地区で防火座談会などを行ってきました。吉田博新地分署長は「防火に対

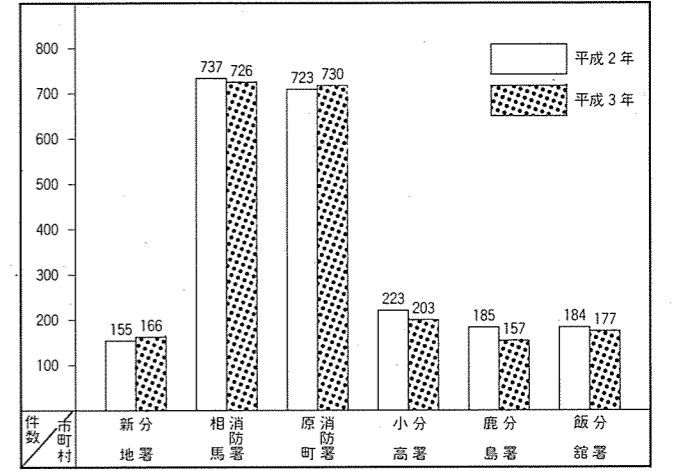
### 救急出動百六十六件 二・二日に一回の割合

昨年一年間の救急出動は、百六十六件、搬送人員は百五十九人でした。前年に比べると出動件数で十一件増、約二・二日に一回の割合で出動したことになります。



事故各三件(各一・八%)などとなっています。

表二 署別救急出場状況 (単位:件)



### 防火診断を受けて安心

神田 睦子さん (新地町)



消防署から住宅の防火診断をしていただきました。主に台所のガス調理器、電気こたつのコード線、ガス管の状態、灯油の取り扱い、ガスボンベの転倒防止の有無などいろいろ調査をしていただきました。結果は特に問題なく良好とのことので安心をしました。

日ごろからてんぷらなど油をつかっている時は台所を離れない、電話がきたらガスを止める。また、仏壇の線香立ての下には厚いガラスを敷く、夜は風呂の水を落とさないなど注意をしています。

家を空ける時は「電気、ガスの元栓、こたつのスイッチ」などと口に出して確認してから出掛けるようにしています。

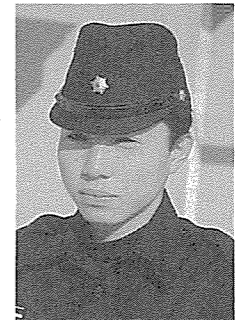
我が家も三人家族で高齢者ですから、いつ火災や病気などでお世話になるとも限りません。今後、高齢化社会を迎えて消防署の役割はますます大きくなるのではないのでしょうか。

同消防分署では、町の人口増加に加え、高齢化社会を迎えます。

ますます救急活動の需要が増える、と分析しています。

### 人の役に立ちたい

佐々木弘光さん(高田)



去年四月に消防士になり、半年間の研修を受け十月から新地分署で災害の情報や警防活動にあたっています。一日も早く一人前の消防士になり人の役に立ちたいです。当面の目標は救急隊員の資格をとることです。

### 二十四時間体制で救急活動

救急車が消防新地分署に配置されたのは、今から七年前の昭和六十年。今では同消防分署の活動の中でも大きなウエイトを占めています。

現在、同新地分署は職員十三人が交替で二十四時間体制で勤務しています。そのうち

### 119番はあわてず 正確に連絡を

もし、みなさんがケガ人や交通事故などを発見したら、すぐ119番に通報してください。119番通報は、早ければ早いほどよいのですが、その内容が不正確であれば結果的に対応

が遅れることとなります。救急車を呼ぶときは、①事故の発生場所と近くの目標②のようなかガガ事故か③ケガ人、病人の容態(簡単に)などを落ち着いてお話ししてください。

### 17区画に27人が申込み 活性化に弾み

町が小川字原添地内に造成した町営宅地が好調な売れ行きをみせています。これは、平成十二年度をめぐりに人口一万三千人を目指した町づくりの一環として実施したものです。

同宅地の分譲面積は、約二百八十九平方メートルから四百九十八平方メートルの十九区画。十一月五日から十二月二十五日まで申込み期間中に二十七人の申込みがありました。

### 分譲が決まって

千葉 亨さん(福島市)

現在は福島市の会社に勤務し



そのうち十区画については、申込者がそれぞれ一人のため抽選なしで決定。複数の予約があつた六区画で抽選が行われ、抽選で外れた人が他の区画を選定し、最終的に十七区画が決まりました。神奈川県宮城県、福島市、相馬市など町外が九人、町内が八人の割合でした。

残り二区画についても引き続き申し込みを受け付けていますので、希望される方は、企画振興課までお申し込みください。

てますが、会社の本拠地が仙台なので、いざれ仙台に転勤したいと考えて、土地を探していました。新地は将来性があるような気がしますし、一時間以内で通勤できるのが魅力です。前に子供をつれて釣師浜海水浴場に遊びにきたことがあります。小川は、駅や学校、そして海に近いので決めました。長男が今年小学校に入学するので一日も早く家を建てたいと思っています。

### 1戸建て町営住宅

### 急ピッチで建築中

### 四月の入居目指す

町では、町営住宅を駒ヶ嶺浜民地区に二戸、福田明地区に四戸、合わせて六戸を建築中です。

公営住宅という長屋式の住宅というイメージが強いのですが、最近では時代を反映して木造の場合一戸建てが主流になってきています。また、面積も年々広くなり使いやすくなっています。

入居者の募集は、二月五日から行ないます。詳しくは建設課にお問合せください。



浜民地区に2戸建築中



明地区に4戸建築中

### 町営宅地、好評分譲

小川原添地内に造成された町営宅地



# トピックス

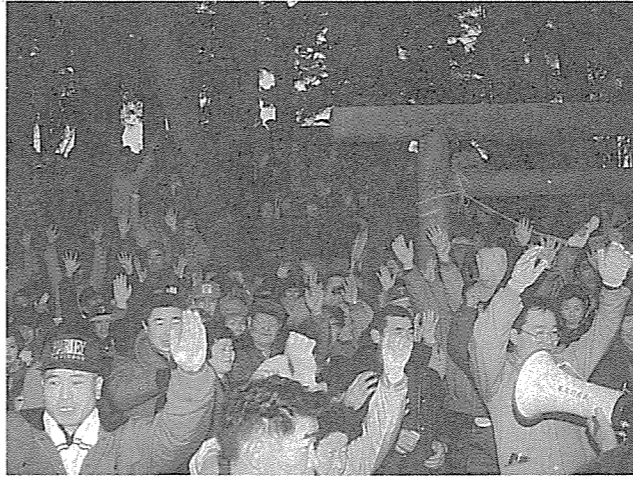
トピックスは、町内の話題をリポートするコーナーです。みなさんのまわりにある話題を、企画振興課 ☎62-2111までお寄せください。



わが家のアイドル  
森 尊美ちゃん(5歳) 大の紙  
智美ちゃん(3歳)

## 一年の幸せ、健康を祈る

### 鹿狼山登頂に千百人



今年も恒例の元旦鹿狼山登山が行われ、過去最高の千百人が参加しました。年々、相馬市・丸森町・山元町などの近隣市町村からの参加者も増え、今年で十三回目。まだ暗いうちにふもとを出発し、白い息を吐きながら元気に登山道を進みました。約四十分かけて登頂。荒町長の新年のあいさつが終る頃、雲の間からオレンジ色の初日が顔をだしました。参加者は、加藤助役の音頭で万歳三唱し、今年一年の幸せと健康を祈り合いました。

## 新春カルタ会

### 婦人学級

新地公民館の婦人学級が一月七日、農村環境改善センターで開かれ新春カルタ会を行いました。会員十人が参加し、百人一首を楽しみながら親睦を深めました。続いて、七草を使って七草がゆをつくり、「七草たたく何たたく唐土の鳥の来ねうちたたく、七草たたく何たたく」と昔から伝わる歌を口づさみながら包丁で刻み、昔の行事について話し合いながら会食しました。



## 一年の無病息災祈願

# どんと祭

子盾嶺神社のどんと祭が、一月十四日、同神社で行われ今年一年の無病息災と家内安全を祈りました。どんと祭は小正月に門松やしめ縄などを集めて焼くもので、近隣地区の人達らが松飾りやお札などを持ち込みました。神事に続いて火入れが行われ、火の周りでは無病を祈って手を合わせる光景が見られました。



## 愉快的踊り

# 厄払い

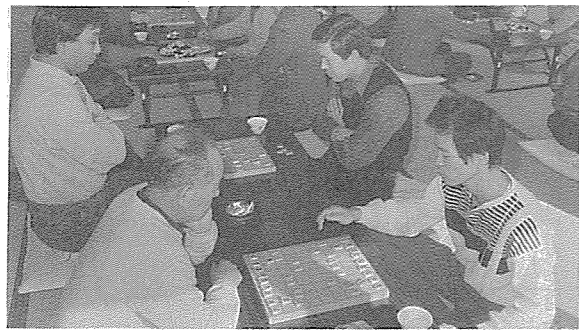
今年も一月十四日夜から十五日未明にかけて、町内各地で無病息災を祈る厄流し「かせどり」が行われました。数えて四十二歳、六十二歳になる男子と三十三歳になる女性のいる家を仮装姿のグループが訪れ、愉快的踊りを披露して笑いとともな厄を流していました。(写真は、藤崎北向の星孝一さんの厄流し)



## 盤上に熱い戦い

新春囲碁・将棋大会が、一月十日、農村環境改善センターで開かれ、盤上に熱い戦いが繰り広げられました。

各部門の優勝、準優勝者は次のとおりです。(敬称略)  
囲碁 Aクラス/優勝 山田幸一(新地町) 準優勝 鈴木實(釣師) Bクラス/優勝 早川清(新地町) 準優勝 伊藤清重(名取市)  
将棋 優勝 斎藤洋一(藤崎) 準優勝 吉田弘(藤崎)



## 駒ヶ嶺小のたこ揚げ

駒ヶ嶺小学校(児童二百二十五人)では一月十六日、新町南の田んぼで、全校たこ揚げ大会を行いました。児童たちが、冬休み中に行ったたこを揚げるこの時期の恒例行事。それぞれ工夫を凝らしたたこは、えとのサルや人気のアニメのちびまる子ちゃんやドラゴンボールなどを描いたものが多く、風を受けて快晴の空に舞い上がりました。低学年は母親たちも顔を見せ、親子で一緒に走り回っていました。



## 安全操業を誓う

### 新地漁協 救難所の出初め式

日本水難救済会県支部新地救難所(所長・小野胞蔵新地漁協組合長)の平成四年出初め式が、一月十四日、同漁協で行われました。出初め式には救済会に加盟している船主や来賓など七十人が出席。海難者に黙とうを捧げたあと、小野所長の挨拶、新入所員紹介、辞令交付。続いて、昨年五月三日、船舶火災の初期消火に協力した尚英中一年生の寺島孝幸君、阿部孝弘君、荒勝彦君の三人を表彰しました。



# 民族資料を保存登録

## 調査員十三人を委嘱

町教育委員会が一月二十二日、民族資料保存登録調査員の打合せを開きました。打合せでは、調査員十三人を委嘱し、町内の民家に保管されている民族資料の保存登録調査を行うことを決めました。

町では将来、歴史民族資料館の建設を予定しています。それが、それまでに各家庭にある



▲ 民族資料の保存を話し合った調査員

る貴重な農具や生活用具などが散逸してしまう恐れがあるため、実態を調査し、同資料館が建設するまで各家庭で保管を要望することにしました。

調査員の太田智明さん（上真弓）は「町の歴史を知る上で文化財の保存は大切なことです。しかし、最近では新築した家も多くなっており、どの程度残っているのか心配ですね。地域の方のご協

力をお願いしたい」と話していました。

民族資料保存の登録にご協力を

みなさんの家庭に眠っている古い農具、民具、生活用具等がありましたら、次の民族資料保存登録調査員にご連絡くださるようお願いいたします。調査員は次のとおりです。

氏名	地区	電話番号
草野輝男	沢口	62-2673
太田智明	上真弓	62-2618
目黒利光	木崎	62-2583
加藤邦昭	岡	62-2346
森忠昭	杉目	62-2520
小野與一	中島	62-2461
小野二郎	小川	62-2470
荒利衛	釣師	62-2470
早坂勝雄	大戸浜	62-2251
佐藤豊	今泉	62-3366
鈴木輝信	今神	62-3678
八島勇	上ノ町	62-3540
竹澤幸男	高田	62-3261



### 2月1日から7日は 成人病予防週間

三大成人病といえ、がん、心臓病・脳卒中ですが、最近注目されている成人病の一つに糖尿病があります。というのも、平成元年に厚生省の研究班が行った調査によると、四十歳以上の人で約十人に一人、都市部では三十歳以上の人で約十人に一人が糖尿病というショッキングな結果が出ているからです。

新地町においても国民健康保険加入者の糖尿病で治療している方の割合をみてみると、昭和六十二年には、〇・九%だったものが、平成三年には、一・七%と約二倍近くに、増えてきています。

ほうっておけば、さまざまな合併症を併発するという糖尿病——この、知られていそ

うで、実のところは「尿に糖がでる病気ですよ」ぐらいにしか知られていない成人病にスポットを当ててみました。

糖尿病とは、分かりやすくいうと、インスリンという膵臓から血液中にでるホルモンの分泌が低下したり、働きが弱まったりして、その結果、血液中のブドウ糖が増える病

## 侮っていませんか 糖尿病の恐ろしさ

気です。他の成人病と同じ様に初期には、無自覚のことが多く、症状が現れた時にはかなり進行した状態になってしまっています。

糖尿病で恐ろしいのは、合併症です。血糖値が高い状態が長く続くことで、じわじわと体がむしばまれ、全身の血管や、目・腎臓・神経などの病気を併発します。

糖尿病の発病の仕組みは、だよく説明されていませんが、糖尿病になりやすい素質がある、そのうえに肥満やストレスなどの要因が加わると、糖尿病になると考えられています。そしてこの素質は、ある程度遺伝することも知られています。

この恐ろしい糖尿病を予防するには、過食や運動不足などからくる肥満を防ぎ、余剰ある生活を送ることで、精神的ストレスの解消をはかり、さらには、定期的な検診を受け、病気の早期発見に努めることが大切になってきます。

●新地町糖尿病診療調査表 (国保加入者) 各年5月診療分 (単位:人/入-入院-外-来院)

	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年
国保加入者数	4,253	4,024	3,817	3,634	3,561
20歳~29歳	—	1(外-1)	1(外-1)	—	—
30歳~39歳	—	2(外-2)	1(外-1)	1(外-1)	—
40歳~49歳	2(外-1)	2(外-2)	3(外-3)	4(外-3)	2(外-2)
50歳~59歳	6(外-6)	11(外-10)	8(外-8)	14(外-13)	10(外-10)
60歳~69歳	18(外-18)	21(外-18)	21(外-21)	23(外-22)	18(外-18)
70歳以上	14(外-13)	26(外-24)	31(外-25)	24(外-22)	29(外-28)
合計	40(外-8)	63(外-57)	65(外-59)	66(外-61)	59(外-58)

### 1月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは、地区ごとに毎月15日~17日(日曜日や祭りに関係なく)に収集しています。収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

収集場所	完全収集	収集できないゴミ			収集場所	完全収集	収集できないゴミ					
		出し忘れ	記名なし	分別不齊			出し忘れ	記名なし	分別不齊			
15日収集地区	作田公会堂前側 作田農協倉庫前側 作田農協西側 釣師北畑水防倉庫前側 大戸浜森商店東側 今泉佐藤商店東側 駒ヶ嶺新林住宅前側 駒ヶ嶺金子会館前側 駒ヶ嶺渡部会館前側 藤民渡部会館前側	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	16日収集地区	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	17日収集地区	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
16日収集地区	中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川 中木町中川	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	16日収集地区	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎				

(1月20日調べ)



高橋 ツネさん(小川)

燃えるごみは、残飯以外自宅に焼却しています。最近アパートが増えています。前に雇用促進住宅の管理人をしていて、アパート住まいのごみ処理の大変さを肌で感じています。

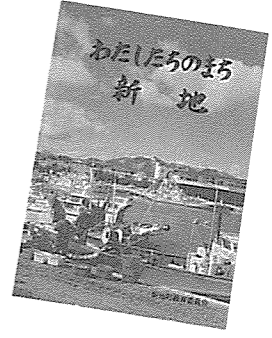
一方、現代は生活の利便性が優先される時代ですが、もう一度、物に対する価値観を見直す必要があると思います。



▲ 農協で学習する児童たち

## ぼくにも 町が見えてきたよ

児童用副読本『わたしたちのまち新地』を作成



町教育委員会では、このほど小学三年生の社会科の副読本「わたしたちのまち新地」を作成しました。町内の小・中学校の先生らが二年をかけて

副読本は、小学三年生の社会科の学習で、自分たちが住んでいる新地町のようすを調べるための資料として作られたもの。町の歴史や概要、農業、漁業、商業、工業などを、わかりやすい言葉で、また、ふんだんに写真や地図、グラフが使われています。店長さん「レジのお姉さん」「工場のおじさん」「農家のおじさん」らの話も随所にあり、小学生が興味を持って楽しく学べる内容になっています。副読本は、新年度から授業で活用されます。

編集委員の吉田雄二先生(福田少)は「教材としても貴重な資料です。特に、小学三、四年生は地域社会を学ぶ大切な時期、この副読本で町や両親の働く様子がわかって、子供たちが自分の生まれたこの町に、より関心をもってくれれば」と期待を寄せていました。

# ハツラツおばあちゃん

岡田 ふくよさん (岡・79歳)

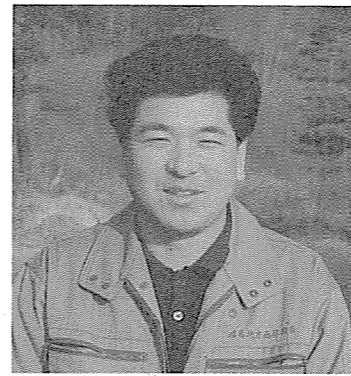


「今年で八十歳になるがながいん、こうして元気であられるのが何よりのしあわせだないん」と話しながらお茶の用意をするふくよさん。一番の楽しみは何ですかと伺うと「掃除、洗濯。それと畑や家の草むしりをしてきれいにすることが一番の楽しみだないん」。健康の秘訣を伺うと「肉、サシミ、牛乳は昔から駄目だけど、毎日三食、ご飯茶碗で一杯づつ食べ、間食をしないこと」と話してくれました。

現在、六人家族。「おじいちゃんも大変元気でゲートボールや畑仕事をしているよ。でも生きられるのも今少しだと思ふと心細いなないん」と少し寂しそうに笑いながら、お茶を出してくれました。

# 森 正之さん

(杉目・33歳)



頑張るマン



「自然や緑を大切になどと言われているわりには、山は手入れもされず荒れたまま。実際の関心は薄いのではないだろうか」と話すのは、相馬地方森林組合に勤務する森正弘さん。「自分の姓が森で、生まれたところが杉目なので、森林を守り育てるのが天職と思っ



●皆さんの声をお気軽に広報にお寄せください。

## 新地駅 無人化から八年

昭和五十九年三月からわたしたち夫婦で駅の業務を委託して八年目を迎える。一日の仕事は自宅から五時四十分ごろまでに車で新地駅に通勤し、朝一番の下り電車が到着する前に待合室のストロブを暖め、ホーム跨線橋(駅のホームに架かっている橋)の清掃から一日が始まります。当駅でのわたしたちの扱う電車は、上下三十本で乗車券の販売枚数は、一日約百五十枚くらいです。その他は、通勤、通学者で乗降客合わせて五百から六百人くらいです。この八年間、事故

## 森林を守り育てる

そんな森さんの趣味は、スポーツ。身長一七五センチ体重七六キの恵まれた体型で運動神経抜群。野球にゴルフ、冬はスキーで毎年友達と泊まりが

けで山形蔵王などで滑っているとのこと。「何にも考えないでまっ白な雪の上をただひたすら滑走するのがいい。そして、汗をかいたあと、ロッジで飲むビールがなんとも言えない」と笑う。

結婚については「今年の目標です」と照れながら一言。彼と一緒に人生を滑走する女性を求めます。ラブストーリーは突然にノ頑張ってください。

## 太田 弘さん

(相馬市中野)

やトラブルがなかった事は、町民のみなさま方のご協力の賜ものと感謝しています。今後より一層のサービス向上に頑張ってまいりたいと思います。みなさまにお願いしたい事は、一部の方によって昨年跨線橋の腰板の破損が二十五枚あり、また、落書きや待合室のガラス戸の破損などもありました。新地駅はみなさまの駅です。一人一人がマナーを守って美しい駅にしたいと思っております。今後も利用者で親しまれ愛される駅にしたいと張りきっております。

# 町の樹々たち⑤

## しい(椎)

木や森は古くから私たちの生活に深くかかわって来ておられます。(今後も永久にかかわり続けることでしょう。)その一つの現れとして地名として残っている例が数多くあります。町内にも杉目、真弓、藤崎、萩崎、榎下、桜下等がある

ります。今回登場するのは木崎の「しい」ですが、この付近には何本かのしいの大木が現存しており、昔はこの丘陵一帯にしいがあったものと思われ、そんなところから木崎の地名が起ったのかも知れません。

椎の実のどんがり割れて冬ざるる (渭城)

## しいメモ

ぶな科、くりかし属に属する常緑樹。とがりばしい、いたじい(すだじい)、こじい(つぶらじい)等があり福島県が北限である。巨理町には国の天然記念物に指定されているこじいの巨木があるが、これは移植されたものではないかと言われている。

しいの実は、米作が入ってくるまでは重要な食料であったと言われ、炒って食用とする。



樹種名	しい(椎)
所在地	埴木崎字木崎393
所有者	荒久雄氏
樹齢	不明
樹幹	根回り...440cm
樹幹	目通り...340cm
樹高	12m
樹冠	東西10m
樹冠	南北14.3m
その他	いたじい(しいの仲間でも最も北まで自生するもの)である。

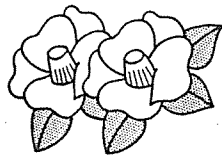
# みやまのふれあいトーク♡



宮本 圭子さん(新町)  
♡S46.5.21生・血液型 A型 牡牛座

☆お勤めはどちらですか。  
○相馬市役所に就職して二年目、教育文化センター博物館に勤務しています。  
☆館内にはどんなものを展示していますか。  
○故佐藤玄々氏(相馬市出身)の彫刻作品や相馬野馬追の鎧、甲ちゅう、馬具。旧相馬藩関係資料や遺跡などを展示してあります。説明を求められた時は案内して差し上げていますので、気軽に声をかけてください。  
☆趣味は何ですか。  
○バドミントンで、週二回練習しています。それと役所に入ってから始めたスキーも早く上達したいです。あと、「相馬郷土研究会」に入会しています。  
☆今年の抱負は。  
○特にないですが、最近朝起きるのがつらいんですよ。だんだん朝ねぼーになるんで、今年は朝に強くなるうと思っています(笑)。  
☆理想の男性のタイプは。  
○特にありません。好きになった人がタイプになるんだと思います。  
☆町に対する要望は。  
○新地町も火力発電所ができて変わっていますが、やっぱりいつまでも鹿狼山などに代表される緑豊かな町であって欲しいと思います。

# 消 息



12/21~1/20

## 届 出

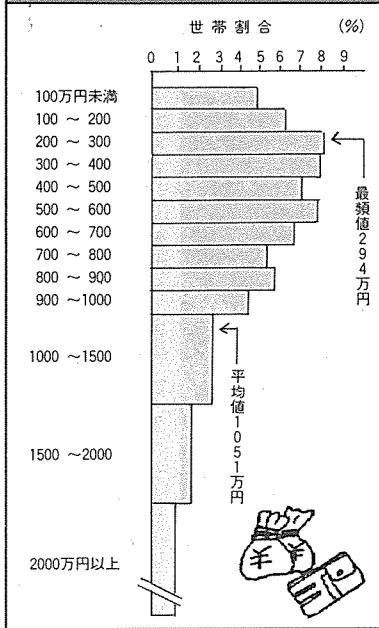
▷出生 (届出は14日以内に)  
おめでとうございます。

(子供) たかのり	(親)	(地区)
貴典	石田 雅英	高田
のぞみ	齋藤 隆司	新地
のぞみ	岡田 博文	岡
まなみ	阿部 陵一	城内
真奈志	吉村 広行	埴浜
隆一	平川 武	小川

▷死亡 (届出は7日以内に)  
おくやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
吉村 光男	85才	埴浜
武田ヨシ子	82才	埴浜
石田 義雄	82才	高田
鈴木 コウ	78才	高田
平間 ケン	81才	小川
加藤 スミ	60才	大戸
寺島 エナイ	58才	大戸
犬飼 駒紀	72才	大戸
寺島 キノ	78才	大富
目黒 コハナ	78才	今杉
菅野 正吾	81才	菅
小野 八十治	83才	
齋藤 サノ	82才	

## 貯蓄現在高階級別世帯分布



## 統計

### 本宅かな貯蓄一千万円

#### 2/3が平均貯蓄以下

平成二年末の貯蓄額が公表されたとき、マスコミで「個人貯蓄、初の一千万円突破」と話題になりました。しかし、自分たちの貯蓄額と比較して、「皆そんなに蓄えているの」と

の声も聞かれました。そこで、この一千万円の実際を詳しくみてみることにしましょう。

調査によれば、勤労者世帯の平均貯蓄額は一千五十一万円。一方、貯蓄と反対の負債

も三百四十万円になっていきます。このように、貯蓄が一千万円といっても、負債を差し引いた本宅の貯蓄額は七百一十万円に過ぎません。

どのくらいの額を貯蓄している世帯が多いのかをみますと、平均の一千万円を五割を上回る一千万円台が約五分の一で、さらに二千万円以上は約十分の一に過ぎません。

これに対し、平均の一千万円を二割を下回る世帯は約三分の二で、貯蓄の低いほうに偏った傾向がみられます。ちなみに、最も世帯数が多いのは二百〜三百万円台です。

そのほかに、貯蓄には生命保険などの掛金も含まれているということですが、さて、あなたはどの世帯に属していますか。

## 町日誌

### 荒 和 英

- 12月
- 24日 四年度重点事項知事説明会、広域圏議会議
- 26日 土地改良入札
- 27日 御用納め
- 1月
- 1日 新年鹿狼登山、藤崎新年総会
- 3日 釣師・大戸浜・大山田・鉄炮町新年総会
- 4日 仕事始め
- 5日 新地町公会堂落成式
- 7日 入札
- 9日 城内新年総会
- 12日 消防出初式

## 今月の納税等

国民年金 2月分  
水道料 第1〜第6  
行政区

## 人口&世帯

1月1日現在 ( )内は前月比

人口	8,975人	(+1)
男	4,377人	(+5)
女	4,598人	(-4)
世帯数	2,147世帯	(-2)

## こちら編集室



▼普段はワープロで文書を作っています。広報紙の原稿もそうです。先月、ある研修会に参加しペンに持ち変えて文を書き始めたのですが、文章は浮かばず、漢字が思い出せず四苦八苦しました。いつの間にか、ワープロという機械に頼りすぎていたのです。▼どの職場もOA化の波でパソコンやワープロが普及し、データの出入力や文章作成が短時間で可能になりました。しかし、現実には機械を使いこなしているつもりが、逆に使われているだけ、機械の進歩に人間が追いつけないと感ぜさせられた研修先での出来事でした。▼といいながら、この原稿もやっぱりワープロで、出稿しているんだよなあ。嗚呼――。(M.S)

- 13日 県知事との懇談
- 14日 新地救難所出初式
- 15日 新地建築業組合総会
- 16日 農業委員会
- 17日 民生委員会
- 19日 作田・埴浜・真弓新年総会